隔日刊
食品新聞
発行所 食品新聞社
http://www.shokuhin.net/
大阪市北区西天満5－10－17
郵便番号 530－0047
電話 06（6361）4972㈹
東京都中央区入船1－9－8
郵便番号 104－0042
電話 03（3552）3756~4031
名古屋市中区丸の内2－10－11
リブラ丸の内6 305号
郵便番号 460－0002
電話 052（221）5391㈹
（支局）広島・福岡
© 食品新聞社 2019
THE JAPAN FOOD NEWS
購読料 半年33,346円

Bull-Dog
ソースはやっぱり
ブルドック

農水省

納品期限緩和など呼び掛け 事業者の取り組み状況公表

事業系食品ロス削減へ

農林水産省は来年10月30日を「全国一斉商慣習見直しの日」とし、小売事業者と食品メーカーに対し、同日までに推奨3品目（飲料、賞味期間180日以上の菓子、カップ麺）すべての納品期限（いわゆる1／3ルール）の緩和と、賞味期限表示の大括り化（年月表示、日まとめ表示）をするよう呼びかけた。サプライチェーンで食品ロスの一因となっている納品期限の緩和と賞味期限年月表示の大括り化を推進することで、事業系食品ロスの削減につなげる狙いだ。

今回の取り組みについて農水省では「呼びかけは任意のものであり、サプライチェーンにおける食品ロス削減という趣旨に賛同する事業者に自主的に取り組んでもらうもの」との認識を示すとともに、事業系食品ロス削減に向け、推奨3品目以外についても、サプライチェーン全体で食品ロスが削減されると考えられる品目について可能な範囲で取り組みを求めている。

同省では、商慣習見直しの機運を高めるため、年度末までに賞味期限の年月表示に取り組む企業の調査・公表、納品期限緩和に向けた意見交換会や賞味期限の年月表示化セミナーなどを実施する予定。来夏を目途に、「全国一斉商慣習見直しの日」までに推奨3品目を対象とする納品期限の緩和、賞味期限大括り化を実施する食品事業者を募集し、10月30日に公表する考え。

食品ロス削減のための商慣習検討ワーキングチーム事務局（公益財団法人流通経済研究所）の調べによれば、今年10月時点で納品期限を緩和（もしくは予定）している小売事業者は全国94事業者で、今年3月末時点の39事業者から大きく増加している。

94社の業態別内訳は、総合スーパー12社、食品スーパー42社、コンビニ8社、生協24社、ドラッグストア8社など。納品期限を緩和した企業の業態別年間売上高シェア（2017年度決算状況等から算出）は、総合スーパー88％、食品スーパー25％、コンビニ93％など。コンビニ、総合スーパーに対し、食品スーパーの取り組みが遅れている。

同省では、全国一斉の取り組みを進めることで、まだ取り組んでいない食品関連事業者に取り組むきっかけを提供、後押しするとともに、複数の小売事業者が共有している汎用物流センターでの納品期限緩和の円滑な進捗、賞味期限表示の大括り化による食品ロスの削減、流通段階での管理業務等の効率化が期待されるとの考えを示す。

推奨3品目では賞味期間の長い飲料、賞味期間180日以上の菓子で納品期限の緩和が進む一方、コンビニを除くと、カップ麺はこれから緩和が本格化する模様。賞味期限表示の大括り化については、賞味期間が180日以下のカテゴリーでは、年月表示などに対する抵抗感が強いものの、一部では1か月のなかで「1日」「10日」「20日」といった表示を採用するなど、各カテゴリーの事情に応じた取り組みが進み始めている。

【食品スーパー】※緩和済みのみ記載

社名	清涼飲料	菓子	カップ麺
アコレ	◎	◎	△
イオンビッグ	◎	◎	△
イオンマーケット	◎	◎	◎
遠鉄ストア	◎	◎	◎
大阪屋ショップ	◎	◎	◎
カスミ	◎	◎	／
光洋	◎	◎	△
サンマート	◎	◎	◎
山陽マルナカ	◎	◎	△
東急ストア	◎		
福原	◎	◎	◎
フレスタ	◎	◎	△
豊月	◎	◎	◎
MV九州	◎	◎	／
MV東北	◎	◎	△
MV長野	△	◎	△
MV西日本	◎	◎	△
MV北陸	◎	◎	△
MV北海道	◎	◎	△
MV南東北	◎	◎	△
マルミヤストア	◎	◎	◎
ヤオコー	◎		◎
ヨークベニマル	◎	◎	◎
ヨークマート	◎	◎	◎
レッドキャベツ	◎	◎	／

【総合スーパー】

社名	清涼飲料	菓子	カップ麺
イオン九州	◎	◎	△
イオンスーパーセンター	◎	◎	△
イオンストア九州	◎	◎	／
イオン北海道	◎	◎	△
イオンリテール	◎	◎	△
イオンリテールストア	◎	◎	／
イオン琉球	◎	◎	／
イズミ	◎	◎	◎
イトーヨーカ堂	◎	◎	◎
ダイエー	◎	◎	△
平和堂	△		
ユニー	◎		／

【コンビニ】

社名	清涼飲料	菓子	カップ麺
国分グローサーズチェーン	◎	◎	◎
セイコーマート	◎	◎	◎
セブン－イレブン・ジャパン	◎	◎	◎
ファミリーマート	◎	◎	◎
ポプラ	◎	◎	◎
ミニストップ	◎	◎	◎
デイリーヤマザキ	◎	◎	△
ローソン	◎	◎	◎

◎ 1/3ルールを緩和済み
△ 1/3ルールを緩和する予定
空欄 1/3ルールを緩和していない ／ 無回答
その他食品SMは今後、緩和予定

値上げ、特需反動表れる

西日本即席麺メーカー

年末商戦で浮上狙う

6月1日から値上げに踏み切った即席麺業界では、全国的にオープンプライス商品が伸長し、NBが苦戦する傾向にある。西日本に拠点を置く即席麺メーカーでは全国同様の流れながら、6月の低温と9月の残暑、また昨年西日本を襲った大型台風の特需の反動と地域独自の影響が表れ、やや厳しさが感じられた。ボリュームゾーンの年末に向けては、新製品や主力商品の強化で巻き返しと売上拡大を目指す。

エースコック（大阪）は、1～9月第3四半期は苦戦した。価格改定前に大きく盛り上がらず、また期初の暖冬や前年の反動でマーケット全体が冷え込み、同社も市場同様に影響を受けた格好。なお海外事業はベトナムの売上げが過去最高で推移し国内事業を下支えした。

商品別ではCVSが主流の「タテロング」が好調に動いたほか、オープンプライスのミニカップが健闘。また「スープはるさめ」は、主食との相性の良さや味わいが人気で値上げ後も堅調。外部環境に左右されにくい強さがうかがえた。

年末に向けては「ラーメンモッチッチ」「スープはるさめ」「スーパーカップMAX」の〝3段ロケット！〟で巻き返す方針。女性を主要ターゲットにした「モッチッチ」は、既存のたて型カップ焼きそばに続き、10月7日から大型新製品「ラーメンモッチッチ」を新発売。新CMキャラクターには女優の菜々緒を採用。年末までに3千GRPを出稿し、全スポットに訴求を強化する。加えてブラッシュアップした「スープはるさめ」「スーパーカップMAX」も新CMに変更し拡販に注力する。

イトメン（兵庫）は、4～9月上半期は前年比4％増で折り返した。大型連休や値上げ前の4～5月に飛躍的に伸びた。商品別では袋104％、カップ100％となり、PBやOEMは減少したものの、主力商品「チャンポンめん」群が104％で全体を牽引した。

「チャンポンめん」は、限定姉妹品第3弾の「ホワイト」を9月に投入。役員自ら出演した動画やSNSが話題となり、10月早々に完売。シリーズの底上げに寄与した。

10月下旬より出荷分のレギュラー5食パックでは、恒例の300万食限定キャンペーンを実施。来年3月末までの応募で1千人に、同社商品詰め合わせ「おかんの仕送り」を進呈し、盛り上げる。

徳島製粉の10月期即席麺事業は増収で着地する見込み。GW前の出荷の反動で5月が苦戦したものの、その後は盛り返した。6月は販売の55％を占める「金ちゃんヌードル」はじめ値上げを実施したが、改定率が小幅で逆に追い風になった。

秋は主力商品群を継続強化するとともに、秋冬限定「金ちゃん鍋焼うどん」5品を揃え、最需要期に向けて拡販していく。

ジャパンフリトレー

機能性表示のポップコーン 朝食・腸活メニュー提案

ジャパンフリトレーは24日、都内で新商品発表とセミナーを開催。28日に日本のスナック菓子として初となる機能性表示食品として、一部コンビニエンスストアで先行発売された「マイクポップコーン プラスファイバー うすしお味」を使った腸活レンジ！を提案した。

同商品は、おなかの調子を整える機能がある「難消化性デキストリン」を配合。もともとポップコーンには不溶性の食物繊維が多く含まれているが、同じトウモロコシ由来で水溶性の食物繊維である難消化性デキストリンを用いることで機能を高めた（1日当たりの含有量は食物繊維として5g）。11月25日からは一部ドラッグストアでも販売し、来年3月2日は全国のすべてのチャネルで展開する。

セミナーは2部構成で行われ、第1部では日本食物繊維学会の常務理事である千葉大学大学院教授の江頭祐嘉合氏が、最新の研究結果を報告。ポップコーンは100g当たりレタス約4個分の食物繊維を含んでおり、抗酸化作用があるとされるフェルラ酸も含有している。江頭氏は、そのほかにカロテノイドの一種であるゼアキサンチンも含まれるなど健康機能性に優れた食品であることを説明。講演では食物繊維のもつ腸内環境を正常化するといった働きや前に摂った食事の内容により次の食事後の血糖値の上昇を抑制する（セカンドミール効果）といった研究データなどを解説。特に朝食にポップコーンを食べることが有益であると述べた。さらに国内のコホート研究についても紹介するなど食物繊維は生活習慣病予防に重要である点を強調した。

第2部では日本ポップコーン協会会長の渋川駿伍氏と管理栄養士の豊田愛魅氏、ジャパンフリトレーの大濱貴子氏が登壇し、豊田氏によるオリジナルレシピ2種を試食。「かさましポップコーンおにぎり」と「ポップコーントースト」は朝食に適したメニューで、渋川氏は「ポップコーンは簡単に食物繊維がとれるので便利。おにぎりに1割ほど混ぜるだけで食物繊維量が0・5gから2・5gに増えるのは驚いた」と感想を披露した。豊田氏は「ポップコーンなら野菜嫌いの子でも食物繊維を摂取できる。わが家でも定番となっている」と話した。

（写真㊤、左から）渋川氏、豊田氏、岩崎社長、大濱氏（写真㊦）おにぎりに用いた朝食メニュー提案

東洋新薬

インテリジェンスパークが日健栄協GMP取得

東洋新薬はこのほど、佐賀県鳥栖市のインテリジェンスパークが10日付で健康補助食品GMPの適合認定を取得したと発表した。認定機関は日本健康・栄養食品協会で、認定範囲は製剤工程（顆粒・粉末、錠）と包装工程（顆粒・粉末、錠、ソフトカプセル、ハードカプセル）。

発表に際して同社では「2012年に鳥栖工場で米国標準規格『NSF GMP』認証を国内ODMメーカーとして初めて取得し、厳格な品質管理体制のもと高品質な製品づくりに取り組んでいる。またISO9001、ISO22000などの各種認定・認証も取得するなど、国際水準をクリアした品質管理体制を構築している。信頼を寄せて製品製造をお任せいただいているお客さまはもとより、消費者の皆さまに納得いただける品質を守るため、当システムの継続的な運用により引き続き品質保証体制を整え、高品質で安心・安全な製品づくりに取り組む」とコメントしている。

逆光線

調査開始から57年が経過、ようやくダム本体の着工にこぎ着けた八ツ場（やんば）ダムの建設が中止される見通しとなった。すでに数千億円の税金を投じ、ダム本体工事を待つばかりとなっていただけに、単純に「もったいない」と思う▼ダムの最大の受益者は下流域に暮らす住民だ。干ばつによる水不足やゲリラ豪雨などによる水害などから下流域住民の生命、財産を守る。50年、100年という時間軸で見た場合、果たして無駄かどうか。ダムに限ったことではないが、過去の判断とならないことを願うばかり▼10年前に書いたコラムの一節。その後、政権交代により八ツ場ダムの建設は再開された。来年3月の完成に向け、今月1日からは試験湛水中だったが、台風19号の豪雨により流れ込んだ水で、ほぼ空っぽだったはずのダムは1日にして満杯になった▼もし八ツ場ダムがなければ、台風19号による下流域の浸水被害が拡大していた可能性もある。現在その効果を検証中とか。検証結果がどうなるか分からないが、少なくとも〝無駄〟でなかったことだけは示せたのでは。

きょうの業界天気図
プレミックス
くもりのちはれ
“ハレの日”需要の増加で無糖は復調気配。加糖がどれだけ伸びるか。

きょうの主な内容
5～7 プレミックス特集
8～12 九州酒類特集

野菜にもお肉にも & Bull-Dog
やさしい味わいのドレッシングソースです。
★添加物（増粘剤・化学調味料・着色料）を加えておりません。
新発売

リニューアル

ブルドックソース株式会社 https://www.bulldog.co.jp